

A級シングルプリメインアンプ

TRIODE

300Night Black

取扱説明書 rev 1.0



はじめに

この度は300Night Blackをお買い求め頂きまして誠に有り難うございます。
精悍なブラック仕上げの100台限定販売のモデルです。
シンプルな300BのA球シングルで固定バイアスを採用し、300Bの魅力余すことなく
活かせるアンプに仕上がっております。

注意事項

使用上の注意

- ・使用時の真空管は非常に熱くなります。やけどやけがを防止するため、必ず付属の真空管カバーを取り付けて、風通しの良い場所に設置して下さい。また、本機は背面側に重量が偏りますので、ぐらつきのない安定した場所に設置して下さい。
- ・真空管を交換する時は、電源を切って温度が十分に下がってから行って下さい。故障ややけどなどの原因になります。
- ・多湿やほこりの多い場所や水気の多い場所に設置しないで下さい。感電や故障の原因になります。真空管カバー内にほこりがたまったら、電源を切り、真空管が十分冷えた事を確認し、乾いた布などで清掃して下さい。

※各真空管のヒーターの明るさが違う事がありますが動作上に支障はございません。また表面の表示印刷の向きは基板パターン設計上正面を向かない場合がありますので予めご了承下さい。

※付属の電源コードは本機専用です。他の機器では使用出来ません。

※お問い合わせ先※

株式会社 トライオード

〒343-0032 埼玉県越谷市袋山 609-3

Tel : 048-940-3852 Fax : 048-940-3853

mail : service@triode.co.jp

取扱説明

【各部の名称】



・電源スイッチ

… 電源のON・OFFを行います。押し込まれた状態がONです。

・音声ボリューム

… 音量を調整します。スピーカー保護の為、電源を入れる時にはMINにして下さい。

・入力切換スイッチ

… 背面のLINE1～LINE4に接続した機器を切り換えます。

・RCA入力端子

… CDプレーヤー等のラインレベルのソースを入力出来ます。

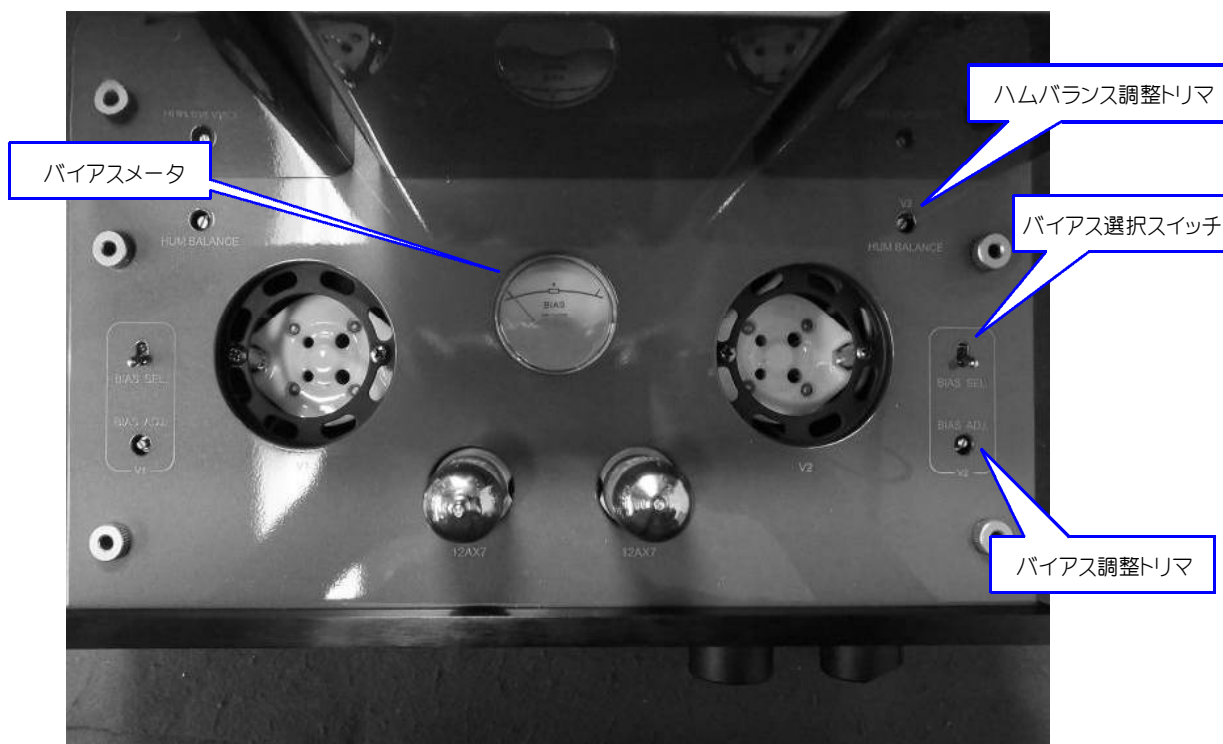
※本機にレコードプレーヤーを接続の際には別途フォノアンプ(またはフォノイコライザー)をご用意下さい

・スピーカー端子

… スピーカーを接続します。Yラグ/バナナプラグにも対応します。4～8Ωに対応します。

・AC電源端子

… 付属の電源ケーブルを差し込み、コンセントに接続します。ヒューズもここに装着されています。



・ハムバランス調整トリマ

…ハムバランス調整を行う時に回します。ブォーンというハム音が最小になるように合せます。

・バイアス調整トリマ

…バイアス調整を行う時に回します。回す時に力を入れすぎないようにご注意ください。

・バイアスマーター

…バイアス調整時に使用します。

バイアス選択スイッチを押し上げた時に針が真ん中を差すのが正常です。

・バイアス選択スイッチ

…バイアス調整やチェックをするときに、押し上げます。

(左右チャンネルを同時に押し上げないでください)

バイアスの調整

300B 出力管を適正な動作にしてあげるために、定期的にバイアスの調整が必要です。

電源を入れる前に、本体天面の V1 と V2 の「BIAS . ADJ」を細いマイナスドライバーで時計と反対回しにしておきます。（300B に流れる電流を一番絞っておくためです。）

次に電源を入れます。「BIAS . SEL」のスイッチを上にもスライドさせると BIAS 表示のメーターの針が動くと思います。メーターの真ん中に針が来るように、「BIAS . ADJ」を時計回しに回します。

まずはV1から調整を行い、V2も同じ調整を行います。何度か繰り返して追い込んでください。但し、V1とV2のスイッチは同時に上に押さないでください。



ハムバランスの調整

直熱管はフィラメント点灯時のノイズの影響を受けるため、ハムバランス調整が定期的に必要です。



アンプ本体にスピーカーを繋いで、何も音声入力を入れない状態で、ボリュームも完全に絞った状態で、スピーカーから聴こえてくる「ブーン」というハムノイズ音が一番小さくなるように「HUM BALANCE」トリマを回して調整します。

* ハムノイズは完全にはゼロにはなりません
わずかに聞こえますが故障ではありません。

これで必要な調整が完了いたしました。
心ゆくまで音楽をお楽しみください！

真空管の交換

電源がオフになっている事を確認し、真空管を取り付けます。

真空管カバーを外し、300B および 12AX7 をそれぞれのソケットに差し込みます。



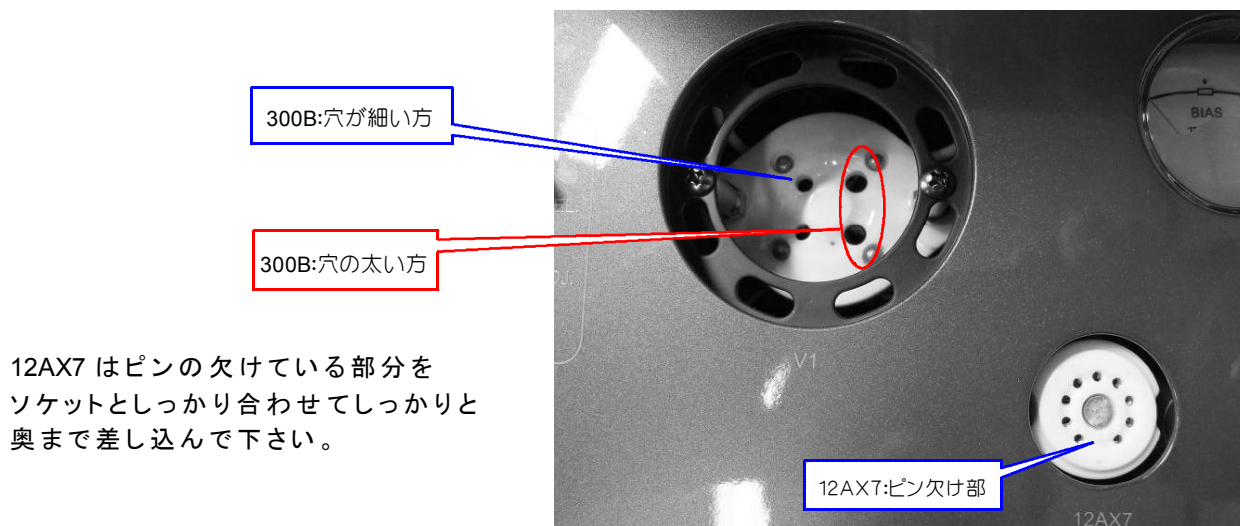
300B のピン



12AX7 のピン

～差し込む際の注意点！～

300B はよく見るとピンの太さが違います。フィラメントのピン2本が太く、プレートとグリッドのピンは少し細いです。この向きを間違えて無理やりに差し込んでしまうと、ソケットの変形、本体及び球の破損につながります。くれぐれもご注意ください。

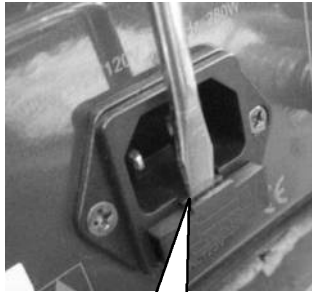


12AX7 はピンの欠けている部分をソケットとしっかり合わせてしっかりと奥まで差し込んで下さい。

300B を交換した場合、必ずバイアス調整とハムバランス調整を行ってください！
未調整のまま使用しますと、アンプや真空管の破損する場合があります。

ヒューズの交換

部品袋に同梱されているガラス管ヒューズ 3.15Aを本体背面の AC インレットのヒューズカバーをマイナスドライバー等を使って引き出して、外したカバーにヒューズをセットします。



溝に引っかけ、引き抜きます。



ヒューズ

主な仕様

真空管 A 級シングル固定バイアス回路

使用真空管：300B x 2 本

12AX7(ECC83) x 2 本

最大定格出力：8W x 2 (1kHz 5%THD 8Ω)

出力インピーダンス 4-8 Ω

入力インピーダンス：100k Ω

入力感度：700mv

S/N 比：88dB

周波数特性：10Hz ~ 50kHz (-2,-4dB)

電源：AC100V (50/60 Hz)

消費電力：80W

最大外形寸法：幅310x高さ195x奥行310mm

重量：16kg

製品の外観及び特性は、改善のため予告なく変更することがありますことをご了承ください。

保守用真空管

TRIODE 300B 電力増幅管 20,000 円/本 (税別)

TRIODE 12AX7 電圧増幅管 2,800 円/本 (税別)

グレードアップ用真空管

PSVANE WE300B 電力増幅管 43,000 円/本 (税別)



ちょっと豆知識

世界の名出力管 300B について

電力増幅用三極管 300B は 1936 年に 300A の改良版として登場しました。映画用トーキシステムとして 1086 アンプや 91-B アンプ等の業務用アンプ。コンソールアンプの電源抵抗管、その他軍用にも使用されていましたが、当時は一般人が入手することは困難でした。現在は本家ウェスタンエレクトリックのものは生産されておらず、その希少性から高額で取引されています。近年は中国、ロシア、東欧の国々でも多く生産されており、入手も容易となり、その音質の素晴らしさからオーディオファンの間では、名球として永らく愛されています。